



●本日のプログラム 深沢 成彦 年度 最終例会

●2682 回例会 (6/18) ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

浅原 長いお休みをいただきました。所用で早退します

小澤 蛍を見る会では(藤川ホタル祭り)、妻がお世話になりました

近藤 本日は、次期会長として、次年度の方針をご説明させていただきます。

よろしく願いいたします

●幹事報告

1. 2025-26 年度 RI 会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴが辞任され、新会長にフランチェスコ・アレツォ氏(イタリア)が選出されました。
2. 2027-28 年度ガバナー(2024-25 年度ガバナーノミニエ・デジグネート)に、韮崎ロータリークラブの齋藤嗣樹(さいとう つぐき)会員が決定しました。

●2673 回例会 (6/18) 例会報告

甲府北ロータリークラブ 2025 ~ 2026 年度 運営方針 近藤会長エレクト

1 国際ロータリーの目標

RI 会長エレクトの次年度に向けたスピーチの中で、「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取り合おう)というメッセージは、例年 RI から示されてきたテーマと同様の意味を持つものと考えます。

「FOR GOOD」の部分は、世界の地域社会でのロータリーによる奉仕を強化することを意味するものと捉えられます。

そして、RI 会長は、ロータリーの未来を確かなものにするために、組織全体で会員増給に力を注ぐことが不可欠であると述べておりますが、これは「UNITE」にも込められた意味と捉えることができると考えています。

RI 会長エレクトは、こうした会員増強は「革新」「継続性」、「パートナーシップ」という柱を基盤にして行うべきであると述べています。

2 当クラブの目標

(1) RI の会員増強

RI 会長エレクトは、真っ先に、ロータリーの持続可能性において、会員増強が最も重要だと述べています。

そして、持続して会員基盤を増強するために、

- ・会員数の維持は幻想であり、成長し続けなければ衰退する
- ・次世代へと受け継ぐリーダーシップが必要
- ・ロータリーのメッセージを常に新しい会員に伝えていくことが大切

だと述べています。

より重要なことは、これらの3つのことを実施し、達成するために、具体的にどうするのかを考えなければ、「どうやって成長するのか」「どうやって次世代へと受け継ぐのか」「どうやって新しい会員に伝えていくのか」という行動を示したいと思います。

(2) 次年度の甲府北クラブの大きな目標は、「クラブの継続と発展に向けての体制強化、改善」です。

そこで、次年度は、甲府北クラブ抱えている問題を解決、改善して、今後も継続して運営できる体制を整

えることを一番の目標に置くこととしました。そして、クラブの活動内容は、この長い歴史のなかで作り上げてきたものを大切にして、それを継続していくことを基本路線として行っていくこととします。

3 体制強化策の内容

(1) 運営の負担の軽減

会を運営していく上での事務的な負担などは軽減しないと、次の人が大変とってしまいます。そこで、私は、次のことを決めました。

① 例会の開催方法

例会の回数を、現在の月3回（行事参加を含む）から、固定会場例会を月2回とし、その他の会場以外での行事に例会変更とします。

② 例会場所の固定化

各クラブは、一定の開催場所を決めることになっています。そこで、食事が提供できる場所で、固定した会場で行うこととしました。この会場問題は、次期の重要な課題として取り組みます。

③ 事務局体制の拡充

運営側の負担軽減のためには、事務局体制が充実していることが必要です。当クラブの事務局員に勤務していただいておりますが、実際、勤務時間や勤務日以外にも連絡をしたりすることもあります。これら、運営の負担の軽減を図って、持続可能な、すなわち、安心して次の人に運営を引き継げる、そして、新しい会員を呼べるようにクラブ運営を実現したいと考えています。

(2) 費用について

① 会費の増額

これは、大変申し上げにくいところではありますが、現行年間230,000円のところを、年間245,000円15,000円の増額とします。なんとかご理解いただきますようお願いいたします。ただし、例会場所の見直し、主に経費節減の点を重視して、次年度中に取り組みますので、また会費を減らせる可能性はあります。

② 繰越金の利用

ここ数年、コロナの影響もあり、食事を伴う常磐ホテルでの例会は少なかったことから、この3年程で、百数十万円の経常繰越金が生じるという状況になっています。これらは、結局、会員の皆様からの会費として集めたお金ですので、クラブの運営に使わせていただくことということで、還元したいと思います。なお、基金が別にあります。何らかの新規事業や行事などを行う際には、当該基金を活用して行くことができます。

4 事業運営方針

(1) 例会の拡充策

ロータリークラブの意義が、会員相互の親睦、そして職業奉仕というものがありますので、それを例会で実現することが目標です。そこで、会員が互いにその人物や職業などを知る機会とするために、会員による卓話を中心に例会を運営します。会長の時間を例会の中でいただきたいと思っております。

(2) 例会の出席率の向上

会員の皆様全員が、例会100%出席の目標を持って臨んでいただきたいと思っております。そのために、次年度は、例会の日程を決めました。御自分の予定に組み込んでください。

(3) 既存事業

甲府北クラブが57年間の歴史の中で培ってきた行事等を基本的な運営の柱にし、これらを大切にしていきたいと考えています。

(4) 新規事業

地区財団資金を活用して、国立病院機構甲府病院の小児科病棟への「ロータリー文庫」の拡充を図りたいと思っております。

(5) 山梨第2グループの事業への協力

次年度は、当クラブの鈴木会員が、山梨第2グループのガバナー補佐、そして土橋会員がガバナー補佐事務局を務めますので、当クラブが主体的に協力していきます。

(6) 各委員会の活動

次年度の理事役員については、既に皆様のご承認をいただき、就任が決まっておりますが、委員長やリーダーの皆様が主体的な取り組みを期待し、私も、いろいろとご意見をお聞きして進めて行きたいと思っておりますので、なにとぞよろしくようお願いいたします。